

1. パイプライン障害発生

11月7日および8日に（高浜町 2街区:05059、05069、05079）で輸送管内でごみが堆積し、パイプラインがまだ停止しています。解決するために管内部洗浄を3回実施しましたが、12月22日現在解決はしておりません。芦屋市では今後どうすべきか再度TMESと検討をしている状況です。

パイプライン障害発生の連絡

12月3日

項目	内容
発生日・時刻	2025年11月7日（高浜町 2街区:05059、05069、05079）、
連絡日	メール送信：1回目：2025年11月7日 17:30頃 2回目：2025年11月11日 12:00頃 3回目：2025年11月17日 17:00頃 4回目：2025年11月26日 14:00頃 5回目：2025年12月3日 14:30頃
場所	高浜町 2街区
影響投入口番号	05059、05069、05079、
障害内容	パイプライン閉塞・機械の故障・内部浸水・工事等・その他 詳細：輸送管内でごみが堆積し、パイプラインが停止しました。
原因	調査（済・継続中）・原因不明 ・具体的な内容 ごみの堆積（ ） ・写真：□別添　□無
臨時収集	□なし □検討中 □期間 11月12日(水)～ 詰まり解消作業完了まで（まで・未定） 備考 □月～土(8:30収集)対応 □週3回(月・水・金 8:30収集)対応
復旧予定	□未定 □管内部洗浄 対応時期（確定：【済】11月15日(土)、【済】11月21日(土)、 【済】11月22日(日)、【済】12月1日(月) 【予定】12月12日(金)・未定※調整中） 備考 □その他(対応内容：) 対応時期(確定 月 日・未定※調整中) 備考
利用者の対応行動	□一時的な各自ごみの保管 □(他の)投入口へごみを投入ください。 □その他(赤ランプの点灯時は近隣の投入口へごみを投入ください。)
注意事項	□：臨時収集です。11月12日以降は投入口(05059、05069、05079)へ投入しないでください。 □しばらくごみは各自保管願います。 □その他(投入口:05099については障害解消されたため、 パイプラインの運転を再開しています。)

マナー違反のごみ(高圧洗浄で排出されたもの)

内容	写真
<p>高浜町2 投入口 05059下流 の点検口から取り出し たごみの写真(ドライ ヤーや丸形蛍光灯器 具など)</p>	
<p>高浜町4 11月15日(洗浄分) 投入口 05099 の下 流より取り出したごみ の写真 (タブレット(左下)・ 洗濯物干しの一部 (中央下)・ 鞄(中央付近)・ 紙類(右上)・ ゼロテープの台座 (中央))</p>	

高浜町2

11月21・22日

(洗浄分)

投入口 05059・

投入口 05069・

投入口 05079 の付
近の輸送管から取り出
したごみの写真

水栓器具(中央付近)

ピン(右上)

鍋(右上)

皿(右上)

水筒(右側付近)

木材(右側付近)

コート(左下)



高浜町2

12月1日(洗浄分)

投入口 05059下流
の点検口から取り出
したごみの写真

フライパン(左下)、

ラジオ(中央下)、

皿・植木鉢(右上)、

石(左下フライパンの上)

モップの先端(右下)



2. 年次報告書の修正

廃棄物運搬用パイプライン施設の年次報告（令和6年度）について

令和6年度の廃棄物運搬用パイプライン施設の運用状況を報告いたします。

1. パイプライン施設年間基本データ（3か年の実績）

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	R6/R5対比
収集量（t）※1	2,004	2,152	2,012	93.5%
収集人口（人）※2	14,321	14,055	13,860	98.6%
収集世帯（世帯）※2	7,122	7,067	7,026	99.4%
処理経費（円）	237,998,726	221,441,975	232,917,995	105.2%
電力使用量（kwh）	1,201,932	1,159,907	1,115,134	96.1%

※1 収集量には、臨時の車収集のごみ量も含む（R4:29t、R5:58t、R6:71t）

※2 人口及び世帯数は住民基本台帳（日本人+外国人）（10月1日）の値

2. 処理経費の内訳（2か年の実績）（単位：円）

項目	令和5年度	令和6年度	R6/R5対比	備考（R6）
需用費	4,740,560	5,537,620	116.8%	内貼補修材の購入
委託料	108,117,521	118,960,819	110.0%	包括業務費用（電気代含む）
工事請負費	94,140,800	90,348,500	96.0%	穴あき補修工事、電気設備補修工事
備品購入費	0	1,385,450	-	ごみカート
負担金、補助金及び交付金	120,000	200,000	166.7%	共同溝負担金
補償、補填及び賠償金	0	0	0%	
人件費	14,323,094	16,485,606	115.1%	職員（給料、共済等）

- 需用費は、内貼補修材の購入量が増加したため、増額した。
- 委託料は、臨時の車収集の回数が増加したため、増額した。
- 備品購入費は、ごみカート等を購入したため、発生した。
- 負担金、補助金及び交付金は、「芦屋浜共同溝付帯設備管理協議会」の毎年の負担金が増加したため、増額した。

3 運転状況

(1) 輸送管のつまり等に伴う運転停止

・ 輸送管の老朽化（主に雨水の侵入）	3回	5回
・ マナー違反投棄	3回	
(2) 工事施工に伴う運転停止	4回	2回

修正後

4 輸送管の穴あき補修

(1) 管の部分取替え :

4箇所（浜風町約6m、新浜町約4.3m、高浜町約5.7m、緑町約2m）

(2) 補修・仮補修 :

18箇所（浜風町、新浜町、高浜町、若葉町、緑町）

5 利用者の会との話し合い

(1) ゴミパイプライン協議会の開催 3回開催

令和6年度の具体的な協議内容は、パイプライン運転報告、運転方法変更の改善提案、代替収集に向けたロードマップの更新、パイプライン施設の年次報告、ファシリテーター導入の決議など。

(2) ワーキング・グループの開催 12回開催

令和6年度の具体的な検討内容は、電力使用量（CO2）削減のため利便性も考慮した運転方法、ごみカートの導入について、ファシリテーター導入に向けての準備など。

ワーキング・グループでは、市と利用者の会とで運転方法の工夫について、話し合いを行い、CO2排出量削減に取り組んでいます。

年度	電力使用量 (kwh)	CO2排出量 (kg-CO2)	削減率
基準(H18~H25平均)	1,384,920	692,460	
令和4年度	1,201,932	600,966	13.2%
令和5年度	1,159,907	579,954	16.2%
令和6年度	1,115,134	557,567	19.5%

※CO2排出係数を0.5kg-CO2/kwhで計算しています。

3. 代替案の検討

12月22日 9時30分～12時で環境処理センターにてワーキング・グループが開催され、代替案の検討がされました。

協議内容は実証実験実施のために

1. 前回協議事項の確認
2. 今後のスケジュールについて
3. 住宅タイプ別の代替収集実証実験について
4. 実証実験の候補自治会・管理組合について
5. カート収納ボックスの仕様について
6. 次回会議日程の調整

第11回 WG 1月13日(火)13:30

前回協議事項の確認

1 前回議事録(要点の確認)

- ・年度末迄のワーキンググループ開催回数を増加、会議時間を2時間30分とする
- ・代替施設案パターン別の代替候補地選定方法の説明した
- ・来年度、住宅タイプ(高層・中層・タウンハウス・戸建て)ごとに自治会・管理組合を選定し、実証実験を行う
- ・1ヶ月ごとに3パターンの実証実験をし、結果を踏まえ比較検討する
- ・実証実験中の自治会・管理組合エリアはパイプラインの利用を停止する

2 実証実験について

目的

将来的なパイプライン代替方式の合理的な意思決定に資するものと考え、住宅形態別(4類型)のごみ収集実証実験を下記の目的で実施

1. 生活利便性と受容性の評価
排出距離、時間帯、操作性などが日常生活に与える影響を把握し、住民の受容度を定量・定性の両面から評価する。
2. 利用者の安全性確保の検証

高齢者や子どもを含む全利用者が、無理なく安全にごみを排出・搬出できる動線・作業負荷であるかを確認する。

3. 運営コストおよび維持管理負荷の把握

収集・管理に要する人件費、設備費、保守作業量を把握し、長期的に持続可能な方式かを検証する。

4. 環境負荷(CO₂排出量等)の比較検証

既存パイプライン方式と比較し、電力使用量、車両走行、騒音等を含めた環境負荷の増減を明らかにする。

5. 住宅形態別の適合性と課題抽出

高層・中層・低層等の住宅形態ごとの特性に応じた課題を整理し、本格導入時の仕様・運用条件の基礎資料とする。

- 時期：来年度に実施する方針で進める

(コメント：予算がともなうので 2026 年3月の議会で承認され、4 月の真円度予算で、入札を行うので、実証実験はおよそ 2026 年夏から秋にかけて 3 か月間(3 案×1 回実施)

- 手順：各住宅タイプ(高層・中層・タウンハウス・戸建て)で行う
- 1案1ヶ月ごと、計3案のゴミ出し方法を 3 ヶ月間、選定された全てのエリアで実施する
- 費用は市負担で行う
- 県営、URで実証実験が必要な場合は四者協へ協力を依頼する
- 地下ピット方式は、既存の投入口を利用すると復旧できない等の理由により、実証実験では扱わない

■ 管理組合・自治会等選定方法の手順

追加

芦屋市でどのような実施手順で実証実験を行うかの詳細を文章で作成し、次回のワーキングで検討をおこなう

① ワーキンググループで候補を検討する

追加

検討の結果、芦屋市で候補を選択する。

→協力の有無、場所(車の寄り付き・場所代不要等)の条件が良いところなどを考慮する

- ② 選定候補の自治会には事前に交渉する
 - ③ 利用者の会で実施する自治会を公表する
 - ④ 実施自治会で芦屋市が実験の詳細を説明する
- ※ 2025 年度末までに手順③までを完了する

3 住宅タイプ別の代替収集実証実験について

- ・ 住宅タイプごとに以下の 3 案で行う。

住戸タイプ	案1	案2	案3
高層住宅	集合カート方式	金網ゴミ庫+カート	金網ゴミ庫
中層住宅	集合カート方式	金網ゴミ庫+カート	マンション用折畳み式ネットかご
タウンハウス	カート収納ボックス	折畳み式ネットかご	金属ボックス
戸建て住宅	カート収納ボックス	折畳み式ネットかご	金属ボックス

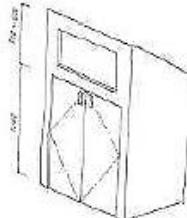
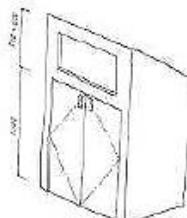
- ・ 「ゴミ出しのルールが守れるかどうか」も実証実験の検証の 1 項目である。

4 カート収納ボックス仕様について

- ・ 30リットルのゴミ袋が投入可能な物とする。

(利用者の多くが45リットルのゴミ袋を利用し、ゴミ出し日が重なってしまった場合、ゴミカートの容量を超過する恐れがある。ゴミ袋の容量が大きくなるほど投入口が大きくなり、耐久性が低くなる。)

住戸タイプ別の代替収集実証実験の採用案（たたき台）..... 20251222

住戸タイプ	実証実験採用方式案（各住戸タイプごとに1ヶ月ずつ3案を実施する予定）		
	案1.	案2.	案3.
高層住宅	集合カート方式 	金網ゴミ庫+カート 	金網ゴミ庫 
中層住宅	集合カート方式 	金網ゴミ庫+カート 	マンション用折畳式ネットカゴ  ※写真はMサイズを使用しています。
タウンハウス	カート収納ボックス 	折畳式ネットカゴ 	金属ボックス 
戸建住宅	カート収納ボックス 	折畳式ネットカゴ 	金属ボックス 

カート収納ボックスに要求される性能

- 景観的に良好な外観であること
- カートが1つまたは2つ十分に入ること
- 十分な耐久性があること(□材質 | □製造方法)
- カラス等に荒らされないこと(□蓋が必要)
- ゴミ袋の大きさに対応可能であること(□30 リットル | □45 リットル)
- 不法投棄対策がとれること(□鍵がつけられること)
- 子どもや高齢者でも無理なく投入できること(□投入口高さ | □蓋の重さ)
- パッカー車による収集に無理がないこと(□開閉の手間 | □鍵の有無)
- できるだけ安価に更新できること

「ゴミカート収納ボックス」の建築基準法上の取り扱いについて

現時点での結論

結論的には、芦屋市内では、ゴミカート収納ボックス(小規模な倉庫)が建築物と判断されるか否かは、近畿建築行政会議の判断によって取扱われることが分かります。つまりゴミカート収納ボックスを、奥行きが 1m 以内のもの又は高さが 1.4m 以内のものとして計画すれば建築物となることを逃れることができると解釈できます。

これをそのまま読めば、奥行きが 1m 以内であれば、高さが 1.4m 以上であっても建築物とみなされないと読みます(逆も同様)が、これについては芦屋市建築住宅課に確認が必要であろうと考えます。

なお、計画・設計においてこれ以上のものとなった場合「人が入れる倉庫であるか否かで判断される原則」による解釈が可能かどうかについて、芦屋市建築住宅課との協議が必要となります。

2026 年 1 月に関連部署とファシリテーターと環境施設課で調整を行う。

リチウムイオン電池総合対策パッケージの策定(環境省)



国民・事業者への周知啓発

①国民・事業者への周知啓発

- 多様な媒体や多言語（英語、中国語等）を活用するとともに、関係省庁の所管団体や地方公共団体等を通じて、政府全体ワンボイスでの情報発信を行う。
- 情報を一元化するポータルサイトを消防庁に設置し、わかりやすい情報発信を行う。
- 引き続き、火災予防運動等の火災防止に係る啓発活動に取り組む。

<ワンボイスでの呼びかけ>

リチウムイオン電池の「3つのC」

賢く選ぶ

Cool choice

- ①購入前に、販売事業者の連絡先や製品情報、リコール情報を確認する
- ②PSEマークやリサイクルマークが表示されているか確認する
- ③非純正品については取り付けようとしている製品のホームページに注意喚起が掲載されていないか確認する
- ④購入時に廃棄の方法を確認する



丁寧に使う

Careful use

- ①強い衝撃や圧力を加えない
- ②高温になる場所では使用・保管しない
- ③安全な場所で、目の届くところで充電する
- ④異常を感じたら使用を中止する
- ⑤発火した時はまず安全を確保し、消火器や大量の水で消火する
- ⑥リコール情報を確認する
- ⑦公共交通機関では、持ち込みルールを守るとともに、留意事項を確認する



正しく捨てる
そして資源循環

Correct disposal with better recycling

- ①リチウムイオン電池使用の有無を確認する
- ②廃棄する前には電池を使い切る
- ③廃棄方法（メーカー回収や地方公共団体の回収区分）を確認する
- ④リサイクルされる廃棄方法を選択する



4. 私たちのHPの紹介

アドレス:<https://pipelineusers.preview.webnode.jp/>

費用:約年間 6500 円

ごみ収集パイプライン利用者の会

芦屋市と芦屋市民が一緒に智慧を出し合い問題解決をする

[メインページ](#) [サイトマップ](#) [RSS](#) [印刷](#)

メニュー

- [メインページ](#)
- [私たちの活動](#)
- [啓蒙活動](#)
- [パイプライン運転状況](#)**
- [パイプライン運転時間](#)
- [代替案の検討](#)
- [パイプライン施設運転実績](#)
- [パイプラインOKごみ・NOごみ](#)
- [危険物ごみ撲滅運動（新規）](#)
- [工事関連（8月28日更新）](#)
- [CO2削減活動（8月5日更新）](#)
- [オープンデータ（更新）](#)
- [マナー違反ごみ（12月4日）更新](#)
- [パイプライン施設への提案](#)
- [スケジュール（更新）](#)
- [パイプラインの運用期間条例](#)

[メインページ](#) > パイプライン運転状況

イープライン施設の運転状況

**利用者起因によるパイプライン詰まり「ZERO」期間
(Campaign to reduce pipeline clogging period to "ZERO")**

12月22日

高浜町2街区（投入口：05059、05069、05079）の管内洗浄について12月1日（月）に実施いたしましたが、堆積物が多く、詰まり解消には至りませんでした。3回目の管内洗浄を12月12日（金）に実施いたします。

町名	状況	復旧予定	備考
浜風町	○	運転中	—
新浜町	○	運転中	—
高浜町	○	運転中	未定
若葉町	○	運転中	—
緑町	○	運転中	—

メニュー

- [メインページ](#)
- [私たちの活動](#)
- [啓蒙活動](#)
- [パイプライン運転状況](#)**
- [パイプライン運転時間](#)**
- [代替案の検討](#)
- [パイプライン施設運転実績](#)
- [パイプラインOKごみ・NOごみ](#)
- [危険物ごみ撲滅運動（新規）](#)
- [工事関連（8月28日更新）](#)
- [CO2削減活動（8月5日更新）](#)
- [オープンデータ（更新）](#)
- [マナー違反ごみ（12月4日）更新](#)
- [パイプライン施設への提案](#)
- [スケジュール（更新）](#)
- [パイプラインの運用期間条例](#)
- [年次報告と長期活動計画](#)

私たちのウェブサイトへようこそ！Welcome to our website!

このホームページは、「パイプラインとごみ」に関する基本的な情報を提供しています。私たちの基本ビジョンは、これらの情報をもとに、市民と芦屋市が協力して問題を解決し、信頼関係を築き、より良い「街まちづくり」を実現することです。This website provides basic information about "pipelines and garbage". Our basic vision is for citizens and Ashiya City to work together to solve problems, build relationships of trust, and realize better urban development based on this information.

ニュース

[パイプライン停止の情報 Pipeline Shutdown Notice](#)

2025年12月22日 07:51

高浜町2街区（投入口：05059、05069、05079）の管内洗浄について12月1日（月）に実施いたしましたが、堆積物が多く、詰まり解消には至りませんでした。3回目の管内洗浄を12月12日（金）に実施いたします。Regarding the pipe cleaning in Takahama Town Block 2 (Inlet: 05059, 05069, 05079) The cleaning was performed on Monday, December 1st, but due to heavy sediment buildup, the blockage could not be cleared. A third pipe cleaning will be performed on Friday, December 12th.

[2025年11月のゴミ収集パイプライン利用者の会会議資料 November 2025 Waste Collection Pipeline Users' Association Meeting Materials](#)

メモ欄